

保健福祉事務所での「HIV（エイズ）検査」体制

（中讃保健所で即日検査をしています）

「HIV（エイズ）検査」は現在、各保健所において、**無料、匿名**で、行っています。

「HIV（エイズ）検査」を受けることにより、感染者自身の早期発見、早期治療に有効だけでなく、感染の拡大を防止することもできます。感染が心配な方は、早めに検査を受けることをお勧めします。

また、各保健所及び感染症対策課において、随時、相談を受け付けています。

HIV（エイズ）検査日程表

検査は **予約制** ですので、あらかじめ検査を希望する保健所にお問い合わせ下さい。

| 保 健 所 名 | 検 査 日 |
|--|---|
| 小豆保健所 小豆郡土庄町湊崎甲2079-5 TEL:0879-62-1373 | 第3木曜日 10:00~11:00 |
| 東讃保健所 さぬき市津田町津田930番地2 （香川県大川合同庁舎内） TEL:0879-29-8261 | 第2木曜日 9:00~11:00 （※4月は第2水曜日） |
| 中讃保健所 丸亀市土器町東8丁目526 TEL:0877-24-9962 | （即日検査） 第2水曜日 8:40~10:10 第4水曜日 8:40~10:10 （※場合により通常検査も実施） |
| 西讃保健所 観音寺市坂本町7丁目3番18号 TEL:0875-25-2052 | 第3月曜日 9:00~11:40 （※7、9月は第4月曜日） |
| 高松市保健所 高松市桜町1丁目10番27号 TEL:087-839-2870 | 月2回 |

※検査日は事情により、変更する場合がありますので、予約時に確認してください。

※検査は、感染の機会があつてから、**3カ月以上**たつてから受けなければ、正しい結果は得られません。

■後天性免疫不全症候群（エイズ）とは？

HIV＝エイズではありません

- HIVとはヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus）の頭文字を取ったもので、ウイルスの名前です。HIVは免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球（CD4細胞）という白血球などに感染します。そして、からだを病気から守っている免疫力を低下させていきます。
- 後天性免疫不全症候群（AIDS:エイズ）とはHIVに感染し、免疫システムが破壊されておこる病気の総称です。HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではなく、個人差がありますが、発症までに数年から10年程度かかると言われています。

■HIV抗体検査とは？

- 後天性免疫不全症候群（AIDS:エイズ）の原因になるHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染しているかどうかを調べる検査です。HIVに対する抗体ができているかどうかを調べ、HIV感染を確認します。
- 5ml（小さじ一杯）ほどを採血し、血液検査を行います。
- HIVに感染している場合は、抗体ができてという意味で、「陽性（プラス）」という結果、感染していない場合は、抗体ができていないので、「陰性（マイナス）」という結果が出ます。
- 感染しても、すぐには抗体ができないため、検査を受けるタイミングは、**感染の可能性のある機会があつて3カ月以上**たってから検査を受けてください。そこで「陰性」と出た場合は、感染していないと考えられます。

通常検査

- 従来、保健所などで行われてきたHIV検査で、検査の結果（「陰性」「陽性」）は、一週間から10日後に出ます。結果は、直接本人にお知らせします。

即日（迅速）検査

- 全ての検査結果が、即日出るわけではありません。
- 即日検査では、「陰性」の場合のみ、同じ日に結果が出ます。
- HIVに感染していなくても、100人に1人は偽陽性（本来は陰性なのに陽性と判定されること）を示すことがあります。その場合は、確認検査が必要となり（要確認検査）、通常検査と同じように、結果が一週間から10日後に出ます。

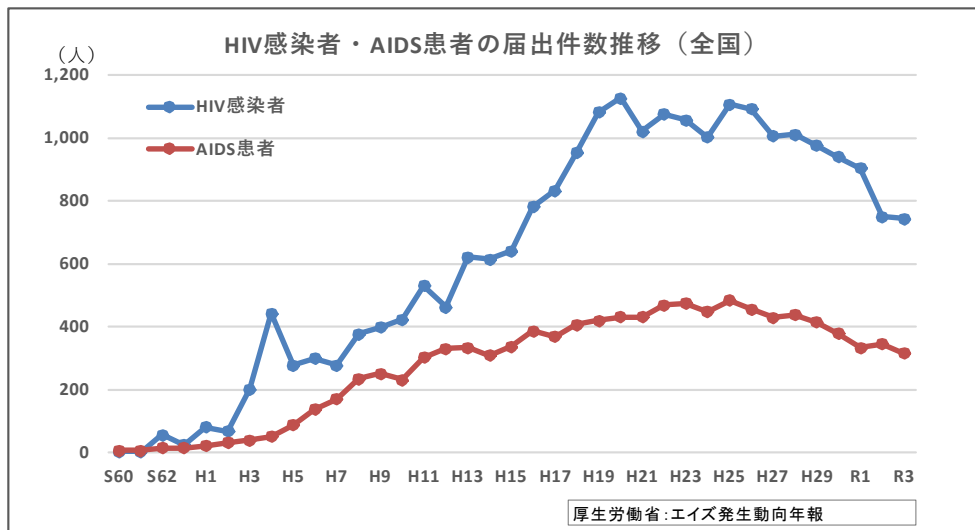
■その他

- クラジミア、梅毒、性器ヘルペス感染症などの性感染症にかかっていると、性器の粘膜が壊れてHIVに感染しやすくなります。
- HIV感染症/エイズの治療方法は大きく進歩し、エイズはもはや「死の病」ではなくなりました。現在はさまざまな治療薬があり、HIVに感染しても、早期に治療を開始し、継続することでエイズ発症を予防することが可能になっています。
- もし、感染がわかった場合、必要があれば治療を受けることができ、感染前と変わらない生活を送ることも可能です。早く感染が分かるとその後の体調管理もしやすくなります。

■HIV 感染者及びエイズ患者の状況

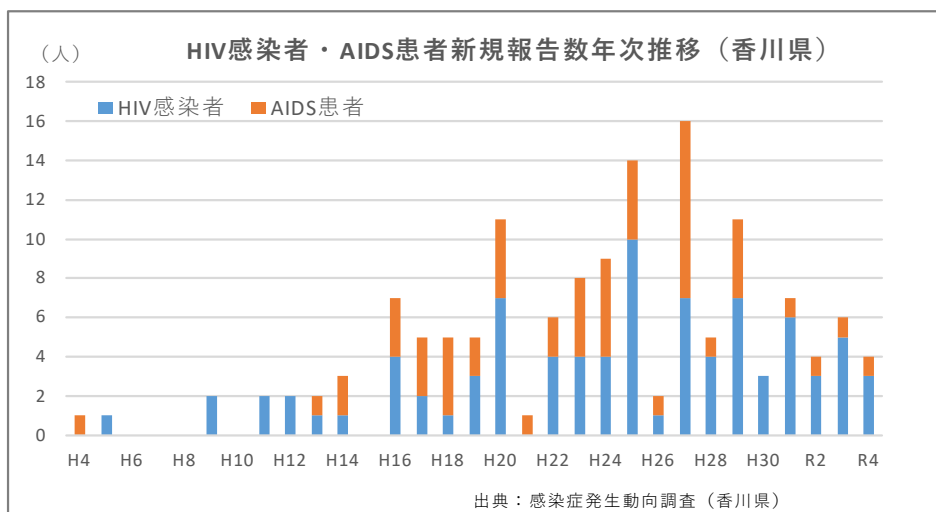
(1) 全国の HIV 感染者及びエイズ患者の報告数

令和3（2021）年の年間新規報告数は、HIV 感染者 742 件、AIDS 患者 315 件、HIV 感染者と AIDS 患者を合わせて、1,057 件の報告があり、前年の 1,095 件から 38 件減少しました。HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数に占める AIDS 患者の割合は 29.8%でした。



(2) 香川県の HIV 感染者及びエイズ患者の報告数（令和4年12月31日時点）

令和4（2022）年の新規報告数（速報値）は HIV 感染者 3 件、AIDS 患者 1 件でした。平成4（1992）年からの累計報告数は HIV 感染者が 87 件、AIDS 患者 55 件でした。



(3) 香川県の年間 HIV 検査実施件数（令和4年12月31日時点）

| 年 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 検査件数 | 364 | 415 | 356 | 322 | 284 | 239 | 269 | 156 | 89 | 95 |

※検査日を公表する理由

診断時に、すでにエイズを発症している事例もあり、早期発見のための検査の機会を逃していることが考えられます。検査日を公表することによって、県民にHIVやエイズに対し関心を持ってもらい、HIV検査の浸透・普及を図ることを目的としています。